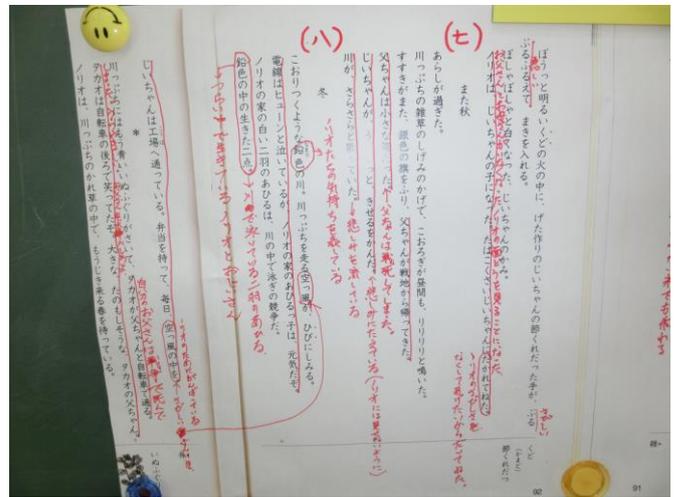
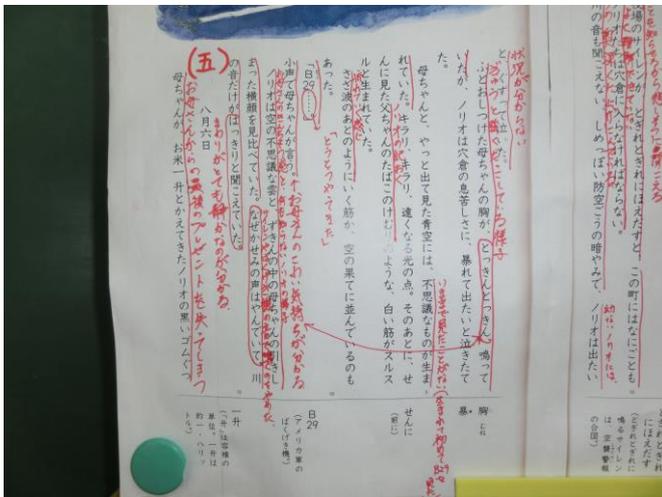
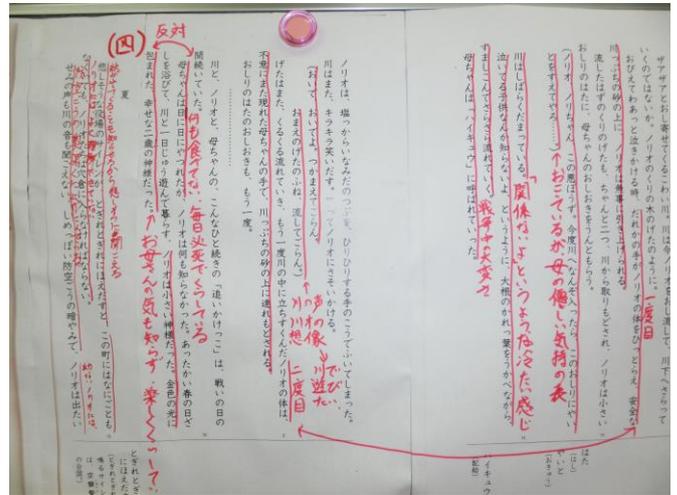
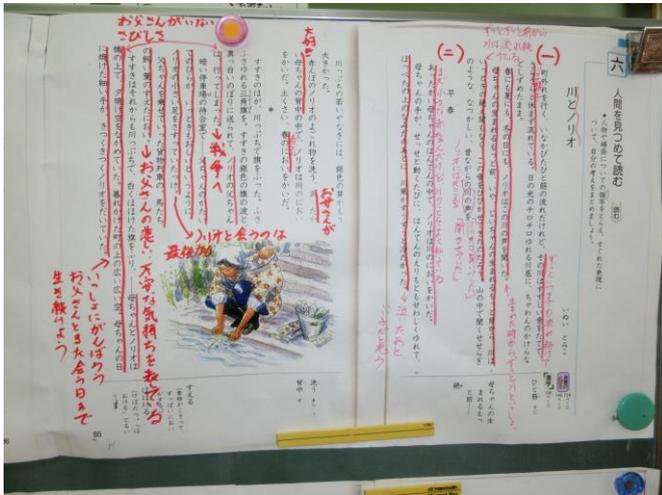


- (1) 単元名： 人間を見つめて読む 「川とノリオ」
- (2) 本時の目標： 優れた表現から、登場人物の心情や場面の様子を読み取る。

【見よこの学びの「跡」を…】 ぜひ「ゆい」HPで拡大して内容を見てほしい。二人の子どもの「気づき」や思いが綴られている。圧巻である。



☆文中の児童生徒の名前は全て仮名である。(分：秒)

2:00 【読む】黙読 → 音読(各々) → 指名読み(二人を指名) 計4回の読みである (9の場面)



『文学は「分かる」ために読むのではない、味わって読むものである。』教師は始め各々に黙読を指示する。次は音読である。各々のペースで読み進められる。若菜さんは実に淡々としっとり読んでいる、どこか寂しげな声に聞こえる。「物語」の内容に浸っている。さみしさ、くやしき、やるせなさを感じているようだ。隆道さんは、たどたどしくじっくり読んでいる。一句、一言をペンでなぞりながら時間をかけ、「物語」に読み入っている。自分のペースで自分の身体で味わっている。指名読みでは、隆道さんが躓くと教師と若菜さんが支援する、さりげなく、しつこくなく、自然にである。間違いや躓きに小さく笑みが出る、まったく嫌み無くである。

20:00 「読み」終了



「読み」計4回。18分を要した。さて、この時間を「長い」とみるか「適当である」とみるか。この後の二人の学び合う姿を見るとこの読み込みの大切さが理解できる。

20:30 教師：気づいたこと、感じたことありますか？

若菜：じいちゃんも、ノリオも「黙っている。」

教師：「黙っている。」のはどうしてだろう。

隆道：悲しいけど「泣きたくないから黙っている。」

教師：若菜さんはどう？

若菜：おじいちゃんが見てきた広島の話『家や人が重なっている』様子を聞いて言葉が出ないから黙っている。

ノリオのさみしやつらさを想像しながら重苦しく言葉で話す若菜さん。6月から校内で平和学習への取り組みが行われているが、悲しみや、つらさの裏に『平和』への切な願いを思いながら語っている気がする。



29:50 ギラギラ照りつける真夏の太陽も、銀色にキラキラ光るだけ。若菜さんが教科書を指さし語る。

若菜：最初のギラギラは自然の太陽を表すが後の『キラキラ』は、ノリオが帰って来ないお母さんを思い出している。帰っては来ないけど思い出は残っている表現であると話した。

隆道：「ザアザアと音を増す川のひびき」は増す音は、ほんとはないが、ノリオにだけ聞こえる音である。

二人は、物語の「擬音語」や「擬態語」に関心を示し、ノリオの気持ちや感情にふれていった。

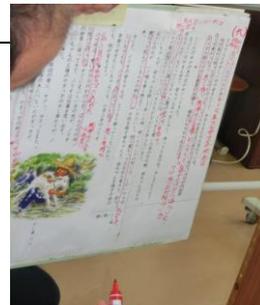
隆道：「ドドーン」は8月6日になるとノリオにだけこえてくる音。

若菜：「悲しい音」「さみしい音」「くやしい音」



34:30

教師：隆道さんのノリオにだけ聞こえるの発言を受けて『白い日がさがチカチカゆれて、子供の手を引いた女の人が、葉桜の間を遠く離れた。ザアザアと音を増す川のひびき。』に音読を入れる。若菜さんの音読の後に隆道さんが続けた。「女の人」はお母さんで「子供」はノリオである。若菜さんも納得である。いろいろな形で表現されるノリオのさみしさやつらさに迫っていく(感じていく)。



39:00 若菜さん「青」にこだわる。

(9)の場面が使われた「青」は以下の文である。

- ・ノリオの世界はうす青かった。
- ・死がいから出るりんの火が、いく晩も青く燃えて…
- ・青いガラスのかけらを、ぼんと川の水に投げてやった。
- ・青々しげった岸辺の草に…
- ・青い空を映しているやぎの目玉。

このお話は、「人間を見つめて読む」がテーマになっている。作者が「青」に込めた何かがある。若菜さんは「青」にこだわった。何かを感じている。

若菜：青いガラスを川に投げつけたのは、くやしい気持ちをガラスに込めて投げつけた。

41:30 教師：「青」ってどんなイメージ

隆道：悲しい、さみしい、戦争を表現している。…が、若菜さんはまだ足りない感じを表情にする。

若菜：「うすい」って書いてあるから…（言葉に詰まる。）

43:50 若菜：「分かった。お父さん、お母さんも死んでしまった戦争で、悲しくて、さみしくて、やりきれない気持ちだけど、戦争のことを忘れて、立ち直ってこれから生活を楽しくいきたい。」

◎この発言は若菜さんの、自分の「生き方」に重ねている気がする。

46:00 隆道：折り重なって死んでいる人々の群れ・・・→「・・・」はみんなに戦争について考えてほしい。



内間昇先生ありがとうございました。若菜さんのしっとりとした読み、隆道さんのたどたどしくてもしつこくしがみつくように読み入る姿。対話で交わされる言葉。二人の成長もしっかりうかがえました。人は成長する。心身ともにが大切である。二人の成長が単なる身体的な成長だけでないことは、教師冥利に尽きると思います。すばらしい授業公開でした。安波小の同僚性の高さに脱帽です。